



リサーチ

2023年8月17日-21日

アーティストと中高生がチームを組み、調査・研究・立案。香川大の船を使い、瀬戸内海を守るための「藻場」のリサーチも行いました。



制作

2023年9-10月

第一線で活躍するアーティストの制作現場を間近で体感しながら、一緒に作品制作。



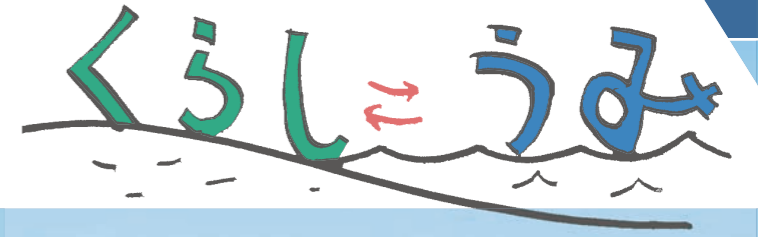
展示

2023年10月27日-11月26日

集大成となる「くらしうみ」展は開館50周年を迎えた「瀬戸内海歴史民俗資料館」で開催しました。

2023年度香川県・東京藝術大学連携事業

# 香川県・東京藝術大学 瀬戸内海分校プロジェクト



出演アーティストは、前回の「さとうみ」展も出展した東京藝術大学出身アーティスト3名に新たに香川出身アーティストが加わった4名です。展示会の運営は、日比野学長をはじめ東京藝術大学教員と香川大の教員のほか、香川大生も参加しました。



いとう いずみ  
伊東 五津美

現代美術  
東京藝術大学美術学部絵画科油画  
教育研究助手



さかた ゆかり  
坂田 ゆかり

演劇  
東京藝術大学  
社会連携センター 特任助教



ほしい たかし  
銚井 喬

インスタレーション・映像  
東京藝術大学美術学部デザイン科  
テクニカルインストラクター



みやわき しんたろう  
宮脇 慎太郎

写真・インスタレーション  
香川県出身アーティスト

瀬戸内海分校  
プロジェクトの  
HPはこちら



## 「瀬戸内海分校プロジェクトとは」

中高生とアーティストがチームを組み刺激し合う、瀬戸内海に面したアート県・香川ならではのユニークな取組。香川大は共催というかたちでサポート役を担っています。「海は人を愛する」をメインテーマに、フィールドワークから作品制作、展示会の準備・開催に至るまでの一連の流れを実践的に学ぶプログラムです。2年目となる2023年は「くらしうみ」をサブテーマに展示会を創り上げました。

### アートを社会に実装していく 新たな潮流

今回で2回目となる「香川県・東京藝術大学瀬戸内海分校プロジェクト」。きっかけは東京藝術大学と香川県の連携事業に2020年から香川大が協力したことでした。それまではアーティストが来県し、作品を創って展示会をするというだけの内容だったので、せっかくアーティストが香川をリサーチするのであれば、人材育成もかねたプロジェクトを一緒に立ち上げてみてはどうですかと提案しました。

2022年の1回目は香川県の文化を支えている瀬戸内海「さとうみ」をサブテーマに、海に対して人や文化がどのように関わっているのかを県内の中高生とリサーチしました。「分校」という名前は「二十四の瞳」のように生徒とアーティストがお互いに学ぶ場をイメージしたもの。リサーチから、作品制作、展示会開催に至る流れを実践的に学ぶプログラムです。

2回目となる2023年は「くらしうみ」をサブテーマに、瀬戸内海と暮らす人々の生活について学びながら、中高生がアーティストとともに歩みを進めてきました。またワークショップでは一般の方達にも広く参加していただきました。アーティスト別に中高生た

ちとチームを作り、香川大生の担当者がサポートし、プロセスを進行しました。今回は、ワークショップの数を増やすなどしてさらに参加人数を増やしたいと考えています。

アーティストが持つ「見えないモノを見る力」で社会全体がまだ気付いていない価値を見いだす。つまり、アートが手法として活用されるようになることが今後の目標です。2024年夏には庵治半島の北端に「芸術未来研究場」が完成予定です。この施設が作品を見せるという働きに加え、「機能としてのアート」をどう社会実装するかの大きな実験場になればいいなと。1階にギャラリー、2階にワークショップ、3階にコワーキングスペースなどを備えます。瀬戸内海の海洋研究者ともリンクするなど、総合大学の強みを生かし、学部を越えた取組もしていけたらと思っています。

瀬戸内海分校 教頭



創造工学部 講師  
しばた ゆうき  
柴田 悠基

広島県福山市出身。2003年九州芸術工科大学卒業。東京藝術大学美術学部の助教を経て、2017年から現職。専門は現代美術、メディアアート。



当日イベントの様子は  
こちらから※



# 列車内、まちあるき中、現地でも、 香川大学教員による『新たな発見!?!』な講義!

この企画では、香川大学教員らによる充実した講義を列車内や善通寺市内散策中に体験していただくことで、新たな発見と学びの機会をご提供することができました!

## LUNCH



讃岐の郷土料理をベースにした彩り豊かな特製弁当を用意しました。香川大と県が共同開発した「キウイっこ」や讃岐名物のおでん、地元「郷乃すたいる」とさんと何度も試作を重ねた自信作!



列車内の様子

学生スタッフが参加者に目を配り、講義中もテキストの該当ページを伝えたりしながら和やかな雰囲気の中、目的地に向かって列車が走ります。お天気にも恵まれ、車窓の外にはのどかな讃岐の景色が広がっていました。



列車内講義

参加者は配布されたテキストを手に、車中の講義に熱心に聞き入っていました。講義内容は「なぜ善通寺は街として発展したのか」(西成)「中世善通寺を歩く」(守田)。

# 12/9

START! 8:58 発 土



高松駅

JR予讃線

## 乃木資料館 11:30



戦争という史実を目の当たりにしたほか、道中でも訪れた「二頭出水」で取り上げられた湧水による地下資源の豊富さや、港湾が近い事と近隣の山岳が軍事訓練に最適であった事など、なぜここに建ったのかも学べました。

## 善通寺 13:00



五重塔の礎石から浮いた心柱も実際に見学! 金田特任教授からは「東京スカイツリーも五重塔の伝統的構法が生かされている」と。その後、守田教授による本堂の講義が続き、質問する参加者らで和気あいあいとした学びの時間を過ごしました。

## OMIYAGE



帰りの列車では参加者に学生スタッフからお土産が配られました。香川大のオリジナルグッズと地元「山地製菓」さんの人気商品。讃岐ダイシモチまんじゅう「祈願成就」のほうじ茶あんとこしあんです。

教育学部 教授  
もりた はやと  
守田 逸人

東京都目黒区出身。早稲田大学大学院文学研究科史学(日本史)専攻博士後期課程修了。博士(文学)早稲田大学(2007年)専門は日本中世史、荘園景観の復元研究、中世史科学など。

JR貨切列車内・現地  
特別講義

現地での  
まちあるき

2023年 JR四国と香川大の共同研究による連携事業  
極め付け四国鉄旅第2弾「さぬきの文化探訪」

経済学部 教授  
にしなりのりひさ  
西成 典久

東京都中野区出身。専門は都市計画・まちづくり。「場所のデザイン」をテーマに建築、人文、経営の融合プロジェクトに取り組む。東京工業大学工学部卒業。同大学院修了(工学博士)。

「まちあるきと講義の相乗効果で  
「善通寺市」を深く知る

列車中やまちあるきをしながら香川大学教授の講義を受けられる、JR四国と香川大の共同研究による連携事業「極め付け四国鉄旅」。2022年の「琴平・多度津編」に続き、第2弾となる今回は善通寺市を訪れました。参加者はJR高松駅に集合し目的地に向け出発。列車内では香川大の西成教授、守田教授による訪問地の事前講義が行われました。善通寺駅に到着すると讃岐もち麦・ダイシモチをPRする善通寺市の観光大使「むぎゅ〜ちゃん」がお出迎え。また善通寺市長・辻村修氏から「ようこそ善通寺に!善通寺駅は日本最古とも云われる木造駅舎。この機会に善通寺市の歴史や魅力を深く知って欲しい」と歓迎の挨拶も。一行はグループに分かれ、この日のために行程や善通寺市の歴史などの勉強を重ねた香川大生のガイドで訪問地を巡りました。「二頭出水(西成教授講義)」、「自衛隊乃木館」などを見学し、昼食と休憩を挟みながら「善通寺」に到着。実際に五重塔や本堂を見学し、金田特任教授や守田教授から講義を受けた参加者からは熱心な質問も挙がり、積極的な姿が見られました。その後「偕行社」、「善通寺市立郷土館」の見学などまちあるきの後、駅に戻った参加者にサプライズが。ホームで尽誠学園高校の大鼓部の皆さんによる力強いパフォーマンスに送られ、現地を後にしました。



地域人材共創センター・特命助教  
うめつ あやね  
梅津 彩音

福島県福島市出身。福島大学大学院人間発達文化研究科修了、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任専門員を経て2023年から現職。専門は、地域教育、音楽教育・音楽表現。

## interview

本プロジェクトは自動車=SLを教科の枠にとらわれず、総合的に学習するSTEAM Learningになぞらえた企画としてスタートしました。大学の研究を社会にPRする手段として、実際に現地を訪れ実感してもらうことで学んでもらい理解を深めてもらうことが目的です。学生にとっては一般の方々との関わりやJR四国を通じ、企業や地域との連携を学ぶ貴重な経験ができた良い機会となりました。ツアーでは参加者の方々から直に喜びの声を聞くこともでき、チーム香川大学として喜ばしい限りです。今後はサイエンス、テクノロジーに加え、エンジニアリング、アート、マスマティクスなどより幅広いアプローチで継続していくことができればと願っています。



四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構副機構長  
地域強靱化研究センター長  
かねだ よしゆき  
特任教授 金田 義行

東京都北区出身。東京大学理学部研究科大学院地球物理専攻修士課程修了、理学博士。専門は地震学、減災科学研究。

※このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。



## 地域活性化の 旗手を育成する

地域マネジメント研究科 教授・研究科長

なかむら まさのぶ  
中村 正伸

東京都千代田区出身。明治大学大学院経営学研究所博士後期課程修了。会計系経営コンサルティング会社での実務経験を経て、2015年より地域マネジメント研究科准教授。プロジェクト、特にアジャイルプロジェクトの、マネジメント・コントロール・システムの研究に取り組む。専門は管理会計、マネジメント・コントロール・システム。趣味は阿波踊り。



### 経営の目線で組織を 運営できる人材を育成

「地域マネジメント研究科」は社会人向けの専門職大学院の中でもビジネススクールに分類される大学院で、2004年に設立され、修了生は間もなく600名となります。リカレント教育に先駆けて取り組み、地域（香川県・四国・瀬戸内）と地域外とで人やモノ、お金、情報の行き来を自らの意思で、リーダーとして創造するような人材の育成を通じて社会に貢献することを使命としています。

そのため企業だけでなく、行政やNPO、医療機関や教育機関など、自身の所属する組織の都合だけに捉われることなく、地域としての動きをつくり出せる人材の育成に注力しています。実際に学生を、従来のビジネススクールのメインターゲットである営利企業だけではなく、香川県庁や高松市役所など地方自治体や行政関係者、医療関係者や教育関係者など様々な組織から迎えていることが大きな特徴といえます。以前から地域マネジメント研究科は、営利企業のためだけのMBAではない、ということ打ち出してきましたが、学生の所属組織の急速な広がりを実感しています。経営目線で組織を運営していく人材が広く求められて

いるのでしよう。年齢層では下は22、23歳から上は60歳代の方まで、起業を考えている方から経営者など経営に携わる方、もちろん組織の中堅人材に加え、子育て中のお母さんなど、実に幅広い層が学びにきています。1学年の定員は30名ですが、約2割程度、起業や公務員試験を目指す、大学卒業直後の学生や留学生も在籍しています。

2年間の最終ゴールは修士論文に相当するプロジェクト研究ですが、そのために経営や経済に関連する科目に加え、地域公共系や観光に関する科目、定量的・定性的なデータ分析の方法に関する科目や、四国に焦点を当てた科目も開講しています。これは四国に拠点を置く企業の経営者や県知事、市長、中央省庁の出先機関のトップの方を招くだけでなく、NPOや地域作りのリーダーなどにも講義して頂く授業になっています。香川を拠点とする中小企業の経営者に、経営の工夫や苦労を語って頂く授業もあり、幅広く学べる環境を整えています。1年目は前述の授業科目の履修を中心に、座学に加え、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワーク等を繰り返します。2年目は、授業科目の履修に加えて、プロジェクト研究を進めていきます。自身の問題意識にそった研究テーマを設定した上で、現地調査、イン

## 地マネ、 ラジオ出演してます

在校生・卒業生の声は  
こちらから



FM香川「ラジオで学ぼう! MBA地域マネジメント研究科」では、取り組むプロジェクト・研究の成果やプロセスなどお話しし、未来のMBAホルダーの皆様へ熱いメッセージをお届けしています。



（第7回 2024年1月18日放送）  
優秀プロ研:S社における男性の育児休業取得と夫婦間の相互プロセス  
出演:18期修了生 久森 陽一・地域マネジメント研究科 教授 吉澤 康代

### 世代・業種を超えた 人的ネットワークが財産に

標準修業年限の2年で経営学修士（専門職）MBAを取得することができますが、2年間の学びの機会として授業外でも、香川大学の地域人材共創センターと協業して行っている各種リ

タビュー調査、アンケート調査も駆使して、最終成果にまとめます。形式として、ビジネスプランとして最終成果をまとめることも可能です。最終成果はプレゼンした上で、教員全員の最終審査を受けて頂きます。テーマは所属している組織の経営戦略や人材育成についてなどはもちろん、例えば地域における自治会の役割や寺院の役割、小豆島の観光地としてのあり方についてなど多岐にわたります。

カレント専門講座を中心に、アントレプレナーシップ育成に関するプログラムの機会もあります（一部有料）。地元の広告代理店と共催で行うビジネスプラン・政策提言のコンテストへの参加も積極的にお勧めしています。1年生だけで取り組むシンポジウムは、企画から講師の決定、運営まで、学生が個々の強みを活かしながら、毎年実施されてきました。1年生同士の絆の醸成に大きく影響していることは間違いありません。学びの場での様々な活躍を通じ、異業種や異分野、世代を超えた人的ネットワークを築けることは修了後も大きな財産となります。他研究科との連携として、令和4年4月に開設された創発科学研究科の当時の修士課程に科目提供してきました。いよいよ令和6年4月に開設される同研究科博士後期課程にも経営学分野の教員を中心に、指導

教員としての参加が予定されています。受講生として人材を派遣している企業経営者の方々が期待する「成果を出せる人材の育成」も念頭におき、単なる学習に終わらない実践的な学びの場を研究科は在学中も修了後も用意しています。修了生については、在学中のプロジェクト研究を継続して教員がサポートしていくポストMBAプログラムも用意しているほか、同窓会との活動を通じた修了生と在校生との縦の繋がりが、同期との横の繋がりを含め、在学中だけにとどまらない、お互いを高め合える仲間との出会いが待っています。「地マネ」では一般的なMBAに地域の要素を加え、地域で活躍するリーダーの育成を通じ、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。



ゼミでのディスカッションで理解を深める



趣味の阿波踊りを披露するユニークな一面も





## 幼少時代から身近に 親しんだ海の景趣。

創造工学部 教授・学部長  
創発科学研究科 教授・研究科長

すえ なが よし ひろ  
**末永 慶寛**

山口県長門市出身。取得学位は博士(工学)。日本大学大学院理工学研究科修了、東京大学海洋研究所を経て、2019年から創造工学部学部長、2022年から創発科学研究科長。専門は水圏環境工学、水産工学、海洋工学。2007年度、2017年度、2019年度に科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞。



〈研究シーズ活用のご相談は〉

香川大学 産学連携・知的財産センター

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL. 087-832-1672(代) FAX. 087-832-1673

詳しい情報は、HPから確認できます ▶  
<https://www.kagawa-u.ac.jp/faculty/centers/23894/>



### 環境保全と水産業に着目したプロジェクトも

海洋立国推進功労者表彰の「海洋に関する科学技術振興」部門で内閣総理大臣賞を受賞できたことは研究環境を与えてもらった大学と組織の理解、関係者の方々の協力あってこそだと思っております。

私が生まれ育ったのは山口県の漁村で、部屋の窓のすぐ下に海を望み、部屋から釣りができるような立地でした。毎日の生活の中に当たり前のように海が存在していました。潜水士だった父が海に潜って防波堤を作っていた情景が今でも心に残っています。

私の研究スタイルは恩師と同じ「現場と理論」。先週も極寒の日本海で調査していました。香川大に赴任するまでは日本海の佐渡海峡がフィールドで稚魚の移動メカニズムなどを研究していましたが、瀬戸内海をテーマにすることに、瀬戸内海でも様々な問題が起こっていることが明らかになりました。漁業関係者の皆さんからは「本当に魚が捕れなくなった」と悲痛な声を何度も耳にしました。

今回私がプロジェクトリーダーを務める研究プロジェクト「瀬戸内再生のための「人×技術×海」マッチング共創拠点」が、国立研究開発法人科学技術振興



これまでの数々の功績が高く評価され、「第16回海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)」において内閣総理大臣から表彰されました。

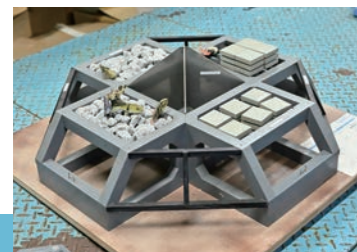
機構(JST)が公募した「共創の場形成支援プログラム(COIXNEXT)育成型(地域共創分野)」に採択されました。これは瀬戸内海の「環境保全」と「水産業」に着目し、10年後の瀬戸内海をかつての資源が豊富な「天然の生簀」への再生を目指し、デジタル技術を活用した科学的根拠に基づく、効果的で効率的な諸問題の解決を目指しています。このプロジェクトは本学を代表機関として、国立研究開発法人海洋研究開発機構、香川県漁業協同組合連合会を幹事機関に、香川県を幹事自治体とし、更に4つの参画機関で構成されています。大学の取り組み瀬戸内に関する研究資源を、参画機関の知財とマッチングし、瀬戸内の抱える問題解決に貢献し、新たな付加価値を生み出す「瀬戸内再生のための「人×技術×海」マッチング共創拠点」の確立を目指しています。先日第1回のミーティングを終え、漁業関係者からも期待する声寄せられました。

### 瀬戸内海を天然の生簀に 藻場から始まる海の未来

今回のプロジェクトの目標は、まずは瀬戸内海を天然の生簀として蘇らせること。大学のテクノロジーと漁業関係者の知恵と経験、行政のノウハウを使って水産業の活性化に繋げ、10年後に漁獲量が上がっているということは、漁業関係者が直面している後継者不足解消にもつながるのではと考えます。

また、13年間続けてきたブルーカーボンに関する研究は人工的に「藻場」を作る取組です。海藻藻類は海水のCO<sub>2</sub>を光合成により吸収し隔離し、食物連鎖や枯死後の海底への堆積などで炭素を貯留します。この生態系を「ブルーカーボン生態系」と呼び、海藻藻類が蓄積している「藻場」は地球温暖化の抑制に大きく影響しています。瀬戸内海で「藻場」を増やすため藻場造成構造物を設計し、沈設後の調査を行い、藻場に集まった魚介類についてもAIを用いて判別を行っています。構造物が海藻に覆われる「海の森」が確認できており全国的にも希少な成功例となっています。波のエネルギーを低減できる防災機能を併せ持つ技術開発にも着手しています。

香川県は面積こそ最小ですが、海岸線の長さは全国3位です。その海岸線が



豊かな海を取り戻すための、潮流の制御機能による魚の産卵場・隠れ場・餌場の形成や藻場造成による炭素の固定機能までも備った人工魚礁。

ある空間には漁業、水産を始め運輸や観光など様々な経済活動があります。空間という資源が豊富にある香川県は、地域が抱える問題は、単一の学問だけではなく経済工学、防災など様々な分野の知識をミックスして解決していく必要があると思います。そういう発想の元にできたのが創発科学研究科という日本で初めての文理融合型の大学院です。自らの専門分野の課題解決方法をデザインでき、複数の学問分野から得られた知識や技術を協動的に組み合わせることで社会貢献できる人材育成を目指しています。

私が学生時代に漠然と持っていた「海に関わる仕事がしたい」という思いは大学で得た専門的な知識や経験がものづくりに関する技術開発に携わりたいという気持ちを加速させました。

学生の皆さんには自身のオリジナリティを発見し、工夫し、創造へ繋げることで地域に貢献できる人材になってほしいと願ってやみません。





愛郷心が生み出した美しい  
瀬戸内ブルー Aji Glass

先進的な研究と先端技術の実証研究から新たな社会・ビジネスモデル実現の研究の場である香川大学イノベーションデザイン研究所のエントランスに飾られているのが、ガラス作家であり庵治石ガラスの生みの親として知られる杉山利恵さんの作品『Blue Birth』です。杉山さんのガラス工房とギャラリー「Rie Glass Garden」を訪ね、Aji Glass 創出の背景や作品への思いを聞きました。

造形研究所でガラスの基礎を学んでいた杉山さん。県外に出たことで、故郷の香川県の美しさをより感じ、その愛郷心をガラスに込めたいという思いが美しい瀬戸内ブルーの Aji Glass の創出に繋がりました。「ガラスを通じて地元を素晴らしい発信したいと思っていました。だからこそ香川に住む方からの『庵治石からこんな綺麗な色が出るの？』、『すごいね』という声力が力になりました」と杉山さん。代表作の作品『幸せの蒼いとりさん』は、工房開設を手伝ってくれた友人に幸せのお返しとしてプレゼントし、大変喜ばれたことがきっかけでした。

# Blue Birth

ひとしずくのキセキ

イノベーションデザイン研究所 エントランス展示作品  
『Blue Birth』(2022) ▶  
様々な人・モノ・コトが出会い 混ざり合い、ぶつかり合い、溶け合い… 化学変化が起きる。一つ一つの個性と軌跡が重なり 一しずくの奇跡が産まれる。瀬戸内Blueが優しくきらめく… この地で。

個性と軌跡が重なり  
産まれるひとしずくを表現

杉山さんの挑戦は続きます。オリブの生産者がオリブを燃やした灰を持ち込んだことが Olive Glass 創出のはじまり。「熱に弱い植物は無理だと思いつながら試作してみるとなんと2回目でも色が出て。でもそこからが試行錯誤の連続。色が出なかったり、黒くなったり、全く違う緑になったりと色が安定せず夜中まで工房に通う毎日。見かねた主人が冗談で『もう既存の染料を使えば』というぐらいの頃にふと『オリブ本来の色って何？』と思えました。葉の表や裏もそうですし、実の色も明るいグリーンから濃く変わっていく。そう思って並べると色々な色があるのがオリブの本来の姿だと気がついたのです」。実際にギャラリーに並べてみると、お客さんが『私はこれ』『この色が好き』とそれぞれが気に入った作品を手にし、楽しそうに選んでいる姿を見て、

杉山さんは自分の決断が間違っていないことを実感したそうです。

そして2023年『Aji Glass x Olive-Glass』の2色を使った Aji & Olive が誕生しました。蒼と緑のコントラストが美しいこの作品は『讃岐の風景を独り占めしているよう。海も山も風もひとつの作品にとじこめてみました』という実に杉山さんらしい柔軟な発想によるもの。あえて境目が出るように作ることにこだわりました。

イノベーションデザイン研究所のエントランスを飾る『Blue Birth』について「最初にお話しをいただいた時に、イノベーションデザイン研究所の建物に込められた想いを聞いて、自分が作品を産み出した時の軌跡とリンクする、というのが率直な感想でした。別々のモノや思いが重なり合ったり、ぶつかったりした時に、今までなかったもの、奇跡的なしずくが産まれることに着想しました。蒼と透明のガラスが降り注ぎ、ひとしずくが産まれたところまでを表現し

ています。多様性のこの時代にあってこの建物の中での人々の集い『創発』に重なければいけません。

叶えてみたい夢について『私の作品には瀬戸内の海が似合うと思うので、海の見える場所で、使っている姿も見てもらいたい。工房とショップ、ギャラリー、カフェと一緒に作った場所を作れたら』と杉山さん。モノ作りについてのモチベーションは『ひとつは作品を手にした人が喜んでくれる幸せな感覚。もうひとつは手仕事を通じて自分がいいなと思うものを人に伝えていきたいという気持ち』。

学生に向けて『夢が目の前にたくさんある時期だと思えますが、どれを選んでも例え遠回りになっても好きな事を続けていけば自分を満たす場所に行き着くと思います。私も営業職などを経て現在に至っていますが、経験は決して無駄ではなく今の私を支えている糧になっています。』とエールを送ってくれました。



イノベーションデザイン研究所 3F エレベーター前展示作品

▲『New Blue Moon』(2022)  
私たちは月の満ち欠けで呼吸をしている 全てがリセットされ1からの始まりを告げる新月 最も神聖で 心を浄化してくれ 今から動き出す力をくれる 私たちを動かす 優しく偉大な月



▲2点の作品が展示されているイノベーションデザイン研究所



▲幸せの蒼いとりさん

曲線を好む杉山さんらしいコロンとした愛らしいフォルムは結婚式の引き出物や、ちょっとした贈り物にも大人気。写真は香川大の刻印が刻まれたオリジナル。



すぎやまりえ  
Aji Glass 杉山利恵

香川県高松市生まれ。東京ガラス工芸研究所、富山ガラス造形研究所にてガラスの基礎を習得中、強い愛郷心に気づき2011年、Aji Glassを創出。故郷に戻り2013年、ガラス工房 Rie Glass Garden 設立。2020年、Olive Glassを創出。高松、東京を中心に個展・企画展多数。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などメディアにも多数取り上げられ、日々邁進中。



## 大学で実践するDXのノウハウを地域に! 「Kadai DX塾2023」第1回、第2回を開催



令和5年12月6日、および令和6年1月26日に「Kadai DX塾2023」を開催しました。これは香川大学で実践してきたノウハウや成果を、デジタル技術を用いた業務プロセス変革に興味がある地域の方々に学んで頂き、DX推進に役立ててもらうことを目的としたものです。「業務データの生成と可視化」をテーマとし、参加者には「オンライン予約受付システム」などのシステムを実際に作成してもらうなど実践的な内容で実施されました。今後も地域のDX推進に貢献していきます。



## J-PEAKSに東京藝術大学と 香川大学の連携による構想が採択されました



令和5年12月22日、文部科学省および日本学術振興会が実施する「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に、東京藝術大学と本学の連携による構想が採択されました。これは、日本の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成のため、地域の中核大学や特定分野に強みを持つ大学に対して、政府が支援するものです。令和6年1月18日には、東京藝大の日比野学長にもオンラインでご参加いただき、共同記者会見を実施。「アートと科学技術による『心の豊かさ』を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開」を推進します。



## 香川の大地と海の恵みをいただく 「せとうち讃岐ジオグルメ発表会」を開催しました



令和5年12月22日、香川大学が中心となり産官学連携で立ち上げた「せとうち讃岐ジオ・ガストロノミーツーリズム研究会」(会長:香川大学特任教授 長谷川修一)が、公益社団法人香川県観光協会と連携し、香川の大地と海の恵みをいただく「せとうち讃岐ジオグルメ発表会」を高松国際ホテルで開催しました。同研究会が開発した料理メニューは、マグマ学者で「美食地質学」創始者の巽好幸氏の解説つきで披露され、香川県の食文化の土台となったジオ(大地の成り立ち)によって形成された、ここにしかない食文化とアートなどの融合した観光ツアー造成などに、大いに期待が寄せられました。



オリジナルグッズが当たる! よりよい誌面作りのため、アンケートのご協力をお願い致します。

## かがアド読者アンケート&プレゼント



香川大学 NEXT STAGE FM香川「786 SUPER MEDIO」番組内

香川大学のキーパーソンへのインタビューを通じて、香川大学の今そして未来を様々な視点からお伝えしています。これからの時代に必要「思考」と「能力」を学ぶ、地域の「知の拠点」として、変革を続けている香川大学にご期待ください。今号に登場する方にも、番組に出演された方がいらっしゃいます。QRコードからぜひご視聴ください。

FM香川

I ♥ RADIO 786



## 香川大学さぬき再犯防止プロジェクトPROSが 「安全安心なまちづくり関係功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞



令和5年10月12日、総理大臣官邸にて安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰が行われました。この表彰は、犯罪に強い社会の実現のため、安全安心なまちづくりの推進に功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、その優れた取組を広く普及することを目的としているものです。【再犯の防止等に関する活動】では8個人・団体が選出され、香川大学の学生団体PROSによる高齢又は障害のある元受刑者と交流する「茶話会」の定期実施やシンポジウムの開催等、これまでの活動を含めて高く評価され受賞となりました。



## 「CEATEC AWARD 2023 デバイス部門 グランプリ」を受賞



令和5年10月16日に、幕張メッセ・国際会議場にて「CEATEC AWARD 2023」の表彰式が行われました。CEATECはアジア最大級の規模を誇るIT技術とエレクトロニクスの国際展示会です。本学創造工学部高尾英邦教授が推進するJST-CRESTプロジェクトによる「指先が持つ繊細な感覚を可視化するマルチフィジクス・ナノ触覚センシング」の技術が「デバイス部門 グランプリ」を受賞しました。人間の指先以上に高い感度と正確性で識別できる本技術はスキンケアの効果やガンの進行度合いの検査など様々な分野での客観的な触覚データの活用が見込まれ、高く評価されました。



## 香川大学経済学部 創立100周年記念行事が行われました



令和5年11月11日、経済学部創立100周年記念行事を開催しました。まず又信会から寄贈いただいた記念碑の除幕式を開催。続いて同学部出身で株式会社川六 代表取締役 宝田圭一氏に「ご縁とDX」と題して学生等に向けてご講演いただきました。その後の「記念式典」では、県内市町長、主な就職先企業の長、他国立大学経済学部長、又信会会員など約250名の方にご臨席いただきました。最後に「記念祝賀会」が行われ、長い伝統と歴史をかみしめるとともに、今後のさらなる発展を誓いました。



## 香川大学危機管理シンポジウムを開催 ～我がまちのレジリエント化に向けた道標～



令和5年12月4日、かがわ国際会議場にて「2023年度香川大学危機管理シンポジウム(多様な社会のインクルーシブ防災)」を開催し、県内外からオンラインを含め189名の参加がありました。学校法人先端教育機構 事業構想大学院 大学長 田中里沙氏による「コミュニケーションと共創で進める持続可能な地域づくり」と題した基調講演や、本学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の磯打千雅子特命准教授がコーディネーターを務め「誰にもやさしい防災がつくる明るい未来」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。地域の方々の防災リテラシーと防災意識の高揚に繋がる意義のある内容となりました。



## 香川から夢の糖 世界に羽ばたく 希少糖

**希少糖とは?** その名のとおり希少な糖。自然界にごくわずかしかが存在しない糖ですが、種類は多く約50種類も存在することがわかっています。

**無限の可能性!** 香川大学が、世界で初めてすべての希少糖の生産方法を確立。「これまでの糖の常識をくつがえす」さまざまな作用が明らかになりました。食品をはじめとして、医薬、工業、化学、植物分野に至るまで、現在も多様な研究が進められています。

**希少糖「アルロース(ブシコース)」のはたらき**

- 1 カロリーゼロ
- 2 食後血糖の上昇をゆるやかに
- 3 動脈硬化になりにくい
- 4 脂肪燃焼の促進
- 5 虫歯になりにくい
- 6 抗酸化性が高まる

※アルロースはブシコースと呼ばれることもあります。

いい糖  
**11月10日は  
希少糖の日**


一般社団法人 希少糖普及協会  
香川県高松市番町1-2-19 安西ビル4階  
TEL(087)814-3333 FAX(087)802-1755




## あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

高松支店 〒760-0042 香川県高松市大工町 1-1  
☎ 050-3460-1275



まだ誰も知らない安心を、ともに。

最終合格 目指すなら 東アカで決まり!

**公務員 2022 合格実績 1,332名**

**教員 2022 合格実績 2,345名**

香川大学 公務員併願受験奨励生 -2023 年度-


**合格率 85.7%** 合格者メッセージ 随時更新中!

※香川大学経済学部および法学部の高松校受講生合格率

高松校、講座詳細はコチラ!

**東京アカデミー 高松校**

募集 公務員併願受験奨励生 / 教員香川県型対策講座 ☎ 0120220731  
実施 個別相談会▶11:00~18:00 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー 11F

**RICOH**  
imagine. change.

リコージャパンは、地域に密着した販売・サービス体制で、全国のお客様に価値を提供しています。

これからもお客様や地域の皆様とともに、社会課題解決に貢献する新たな価値創造に挑戦し、SDGsの達成に積極的に取り組んでいきます。

リコージャパン株式会社 香川支社  
〒761-8054 香川県高松市東八幡町9-7 TEL:087-867-2311 https://www.ricoh.co.jp/sales/branch/kagawa/

# 油圧シリンダ 専門メーカー

# MIMURA





# 正社員

採用中!!

建機用ジャッキシリンダ  
シリンダ内径 | 130mm  
ロッド外径 | 100mm  
ストローク | 590mm  
使用圧力 | 20.6MPa  
最高出力 | 伸び側274KN  
縮み側77KN

MIMURA IRON WORKS PRESENTS  
**ミムラテッコウ**  
アイツ 真面目は見えない  
見えないアイツを 宿らせる

**就** 職活動中の皆さんに、三村鉄工を正しく知っていただき入社を希望してもらえよう、ホームページ、YouTube動画、会社案内などを作成し、たくさんの情報を伝えるようにしています。インターンシップや、会社説明会・見学会なども通年で受け付けています。気になる方は、ホームページまたはお電話からお申し込みください。その他、何かご質問があればお気軽にお問い合わせください!

- オリジナル短編動画「ミムラテッコウ」スペシャルサイト 
- オリジナル短編動画「ミムラテッコウ」誕生秘話 
- MIMURA TRAINING STORY ものづくりの出发点 
- マイナビ2025 

当社は香川県さぬき市で「油圧シリンダ」を専門に作っている会社です

**MIMURA 三村鉄工株式会社**  
〒769-2105 香川県さぬき市末371番地6 TEL:087-894-7788(代)

You Tubeでも情報発信中 

公式HPはこちら 